



崩れた護岸表張り（右岸河口付近）



湾岸線橋梁まで流れ着いた流木



南部橋架設歩道橋工事始まる。



台風で折れた松の小枝清掃撤去作業（小曾根付近）



海釣り公園付近の浚渫工事



甲子園浜干潟再生工事（武庫川の浚渫土砂が使われる）

今年は7月西日本豪雨・8月末の台風20号、9月4日台風21号、10日の秋雨前線降雨が続き、清掃・復旧作業が追いつかず、今も河川敷に未処理の倒木が残り塞がれたままの散歩道も残っているが、徐々に清掃・除伐が進み平静を取り戻しつつある。

しかし川の中に流木が残り、堤防表面を覆っていた石が落ちたままになっているなど引っ掻き傷程度の爪痕は未だ癒されない。本川には大きな被害はなかったものの、剥落した石や川の中に残された大きな流木を見ると、1回毎の被害は小さくても時日を置かず続く豪雨・台風がカウンターパンチのようにじわじわ効いてきたように思える。

国指定浜甲子園鳥獣保護区は、兵庫県西宮市に位置し、大阪湾に注ぐ鳴尾川の河口西側に形成された干潟を中心とする鳥獣保護区です。野鳥の生息地としての環境を保全するため、昭和53年（1978年）に「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」（平成14年法律第88号）に基づいて国設浜甲子園鳥獣保護区（現 国指定浜甲子園鳥獣保護区）として指定され、武庫川の浚渫土砂を使って干潟再生工事が進んでいる。